

利用者各位

全学共用機器  
X線ユニット長  
水田勉

### APEXII の廃棄について

新しい単結晶 X 線解析装置の Rigaku SynergyDW が稼働を開始し、11 月より試用を開始いたしました。通常の測定であれば、従来機よりもはるかに短い 1 時間以内で測定が終わりますので、ご活用ください。

これに伴い、今まで稼働してきました 2 台の APEXII の処分について検討しました。分析センターに設置していた 1 台は、工学部へ移設し、引き受け先の研究グループで管理いたします。理学部 4 階に設置していたもう一台については、製造メーカーの Bruker が、APEX-II のサポートを停止することと、設置している理学部 4 階の部屋が、令和 4 年度に建物改修の対象となっていることから、撤去処分する予定です。

なお、引き受けたいという希望があれば譲渡を検討いたします。工学部への移設では 400 万円程度かかったことなどから、移設費用は譲受者負担でお願いします。令和年度の建物改修の計画立案が急がれていることから、2022 年 1 月 14 日までに、X 線ユニット長の水田(tmizuta[[@](mailto:tmizuta@hiroshima-u.ac.jp)]hiroshima-u.ac.jp)まで引き受けを希望する旨をご連絡ください。

以上